

特別講演のお知らせ

顎顔面形成不全への包括的アプローチ における矯正歯科の役割について

顎変形症をはじめとする顎顔面形成不全に対する矯正治療は多科により行われる包括的治療の一翼を担う。外科的矯正治療が必要なケースの中には3次元的に顎骨の複雑な移動が必要な場合も多く存在し、術前矯正の綿密な計画と合わせて外科的な顎骨移動の限界も考慮に入れる必要がある。この様な理由から大阪大学歯学部附属病院では定期的に矯正科と口腔外科合同で症例検討会を開催し、様々な資料を基に術前矯正治療前から顎矯正手術前の患者等の詳細な治療計画を検討している。特に口唇口蓋裂等の先天性疾患を伴う不正咬合等は治療期間も非常に長く、長期的な目標を多科で共有しながら治療を進める必要がある。また、治療の様々なステージにおいて他科での治療の進行状況を確認し、症状や状況に合わせた治療法の選択が必要である。本講演では包括的な治療が必要なケースにおける矯正治療の果たす役割を考察すると共に、当科で行われている治療法、他科との連携の実際を紹介する。

平成29年9月28日（木）
18時～19時30分
歯学部棟4階 第二示説室

講師 黒坂 寛 先生
大阪大学大学院歯学研究科
顎顔面口腔矯正学教室 講師

本セミナーは岡山大学大学院医歯薬学総合研究科の
単位認定（研究方法論応用）の対象となります。

研究科および病院スタッフのご参加を歓迎します。